

表紙の人

うへだ かずひと
上田 一仁 氏



【プロフィール】

一般社団法人吉野かわかみ社中
専務理事 兼 川上村参与

1959年 大阪府生まれ
1983年 奈良県に林学職で入庁
2015年 川上村に出向
(かわかみ社中理事と兼務)
2020年より現職

「500年の歴史がある吉野林業の木材生産を次世代に繋げるため、機械化や効率化の取組や、後継者育成などを実施。また、消費者が求める吉野材製品をお届けできるよう、林業現場見学会や村内生産、商品開発、販路開拓なども実施しています。いずれも関係者一同、試行錯誤しながら奮闘中です。」 【談】



吉野かわかみ社中

ONLINE STORE

kitosumu



「表紙の人」奈良の木シリーズ4回目は、(一社)吉野かわかみ社中の上田様にインタビューしました。吉野郡川上村で官民連携の取り組みとして、幅広く活動されている様子を伺いました。

■吉野かわかみ社中を設立された背景をお聞かせください。

昔は栄えていた吉野の林業ですが、需要の落ち込みに従い衰退の危機が明らかになってきました。そこで、従来別々に活動していた林業関連の4つの組織と川上村がまとまり、協働するため2015年に設立しました。

■どのような活動をされておられますか？

森林資源を守るために、伐採木の搬出支援や再造林を行っています。そのためには作業道を整備し、機械の導入を進めて生産性を高めることが重要です。

また皆伐後の植林では野生獣によって苗木の被害も多いのです。なにしろ人の数より鹿の方が多いと言われていましたから(笑)。防護柵の補強など試行錯誤の結果、やっと食害されずに生育できるようになってきました。



■林業の6次産業化を進めておられるのですね。

川上村産材を最終商品まで供給できる一貫体制を目指しています。そのために製材や加工設備も整備し、内装材や木製雑貨などの商品開発を行っています。

■川上村産材の特徴は？

吉野林業の伝統的な山づくりのおかげで良質な杉・桧が出荷され、主に建築内装材などの付加価値が高い商品に使われています。ただ、今までのようなヘリコプターによる搬出手段では採算のため100年生以上の木材しか出荷できず、構造材での利用には適していません。今後はさらなる効率化を進めて60年生までも出荷できるようにしたいと思っています。

■建築士への期待をお聞かせください。

吉野材のファンを増やして、建築時にご指名いただけるようになりたいと思っています。そのために、生産現場体験ツアーなどを企画・実施していますのでお気軽に声をかけてください。また、工務店様等と連携協定を結び、より緊密な活動も行っていますので是非ご検討ください。

■ありがとうございました。

【記：情報・広報委員会 伊藤吉郎】

去る令和4年11月6日奈良支部では、国宝金峯山寺二王門大修理見学会を開催いたしました。国宝の300年に1度の全解体大修理ということもあり参加者は、25名で、奈良支部の見学会としては大盛況でした。

金峯山寺二王門は、現在、令和10年度の完成を目指して、この門の解体大修理事業に着手しており、この事業は、先人達から引き継いだ掛け替えのない財産を、使命感をもって後世に伝えるべく、解体大修理を施し、保存するという歴史的な大事業です。

今回は、総本山金峯山寺執行長の五條様、奈良県文化財保存事務所金峯山寺出張所の竹口主任様に金峯山寺と二王門大修理のご説明を伺うと共に、素屋根設計を担当した弊社主任畑中からも素屋根設計の工夫などを説明させていただきました。

午前10時に金峯山寺本堂前に集合し、金峯山寺の説明聴講及び蔵王堂の拝観をさせていただいたのち素屋根の中で解体修理の説明を聞くことができました。この時期は、国宝二王門の大修理勧進のために、国宝蔵王堂内に安置されている日本最大の秘仏ご本尊金剛蔵王大権現3体が今月限定でご開帳されており、平常は、蔵王堂内陣の奥深くにいらっしゃる秘仏ご本尊を直接拝観させていただくことができました。

素屋根の中での二王門見学においては、竹口主任様から写真や図をまじえて二王門の歴史的・学術的な説明を詳しく伺うことができました。先人たちが残した遺産の技術的な解明、使用樹種の調査など興味深い研究課題が今回の修理に課せられていることを聞きロマンを掻き立てられました。

引き続き、素屋根設計を担当した弊社の畑中から、国宝金峯山寺二王門の保存修理工事に係る全天候型仮設足場の説明をさせていただきました。

説明させていただいた内容は、①床面積 2,199.90㎡、構造・規模は、S造（四角トラス材）・地上3階で、内部には保存修理の為にクレーンと足場を設けており、解体部材の格納棚と木材加工場も併設していること。

②二王門は史跡名勝吉野山内となる為、掘削を伴わない置き基礎を採用していること。

③国宝上部での作業を避ける為、東側道路上部に設けたステージで鉄骨を組立し、西側二王門に徐々に移動させるスライド工法を採用していること。

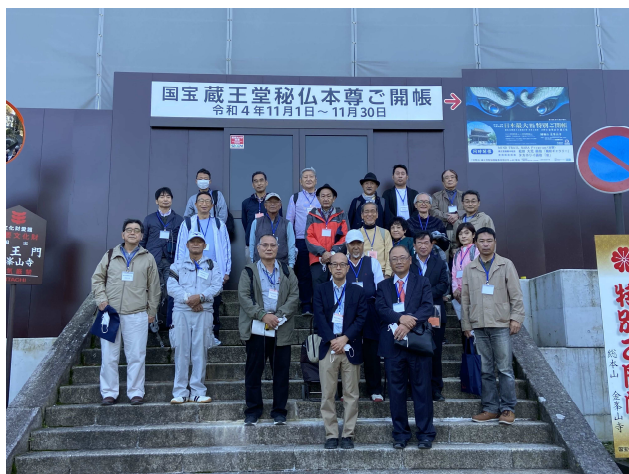
④二王門は敷地内石垣の上に建ち、北及び東面は県道に接しており観光地であることから、施工においては安全対策を十分にする必要があったこと。

について説明させていただきました。

解体修理は瓦が下ろされた状態で数百年前の木組みを直接見ることができると同時に、断崖絶壁ともいえる現地の素屋根の中から外を見下ろす谷間の風景は、足がすくむ絶景でありその近景と遠景のギャップは、創建当時の大工の視線を追体験しているようで感動的な瞬間でした。

解体修理見学会後、参加者一同少し移動して昼食を吉野西澤屋でいただきました。古建築談義に花を咲かせながら楽しくいただくことができました。解体修理は後5年以上の期間があるため再度企画し、できるだけ多くの人に300年に1度の国宝大修理を体験していただきたいと思いました。

【記：奈良支部 副支部長 中元綱一（株枿谷設計代表）】



集合写真



見学会の様子

山の辺の道・万葉まほろば線を起点とした歴史的な建造物等の掘り起し事業

住まいまちづくり委員会では、奈良ヘリテージ支援センター・天理支部・桜井支部と共に、令和4年11月3日（祝）にJR 橿本駅から山の辺の道を経由してJR 天理駅に至る「まち歩き」を実施しました。総勢16名が3班に分かれ、1班（JR 橿本駅から上街道を南下、田部町～国道169号線を横切り豊田町～山の辺の道～石上神宮～天理教本部前～本通り商店街～JR 天理駅まで）2班（JR 橿本駅から上街道を南下し横大路を東へ、和邇下神社～和爾町～中ノ庄町～森本町～上街道に入り南下、蔵之庄町～櫛町～JR 橿本駅まで）3班（上街道を南下し在原神社～石上町～祝田神社～別所町～山邊御縣座神社～三島神社～JR 天理駅まで）のコースで、景観、歴史的建造物の確認及び福祉環境等について建築士の目で観て歩きました。

橿本駅舎は木造で「建物財産票」では明治31年の建物、跨線橋はレールを利用した構造で、開業以来のものだと思います。ホームに残るレンガ積みや、駅



（JR 橿本駅と参加者）

北側の延べ石とレンガ積みで支えられた線路橋等、歴史を感じる駅です。駅の東側には奈良上街道が南北に通っています。

街道沿いには大和棟が多く点在しており、その他、油を搾る工場跡、馬つなぎのある家、鍾馗や鬼瓦を有する町家、特徴的な瓦を葺いてある町家、2階が銅板壁の町家、跳ね上げ方式の大戸のある町家、ぱったり床机や、昔のショーケースがある町家等が残っています。



（大和棟）



（本 蔵）

上街道から外れ、山の辺の道を目指して歩きました。途中には多くの集落が存在しています。集落ごとに特徴があり、豪華な農家住宅が残っている集落、歴史的な景観の中に突然魅力的な近代建築が現れる感動や、連続して蔵がある町並みが素晴らしい景観を創っていることも、散策しないと気付かない魅力でした。その他、歴史的な神社、寺、古墳も多く、楽しく勉強できました。



（豪華な農家住宅）

また、集落の周辺は田園風景が広がり、気持ちの良い散策でした。



（魅力的な近代建築）

気になったポイントとして、駅前を含めてお土産屋さん等が見つからないこと、観光地化されていないので駐車場がないこと、公衆トイレも少なく健常者でないと使い難い状況です。しかし、地域は生活圏との密接な繋がりが



（田園風景）

がある地域なので、観光バリアフリーという視点で何かを提案することは難しいように感じました。

当地域に空き家は比較的に少なく、それぞれで活用されています。歴史的建造物も多く、今後地域で報告会等を開催できれば具体的な調査の提案をしたいと考えています。

この事業は「地域の資源を掘り起し、活用を考え、次世代まで住み続けるまちづくりに繋げよう」という企画で、6回開催予定です。今回は第1回のまち歩きでした。次回は3月18日（土）JR 長柄駅～山の辺の道・上ツ道～JR 天理駅を散策します。

興味を持たれた皆様のご参加をお待ちしています。詳しくは、弊会のホームページをご覧ください。

【記：奈良ヘリテージ支援センター世話人 紀本澄男】

お知らせ

●令和5年度受賞者のご紹介

- 国土交通大臣表彰 前副会長 竹村 繁喜 様
- 日本建築士会連合会表彰
・会長表彰 峠 政和 様 (奈良支部)
上平 久居 様 (吉野支部)

●合格おめでとうございます (奈良県)

令和4年一級建築士試験	合格者数	24名
二級建築士試験	合格者数	61名
木造建築士試験	合格者数	3名

●令和5年度通常総会の日程 (予定)

日時: 令和5年5月19日 (金)
場所: ホテルリガーレ春日野

●入会

威徳井 健太郎 様 (高田支部)
米杉 温郎 様 (高田支部)
よろしくお願いします。

編集後記

今年度から情報・広報委員会で活動させて頂く事になりました。よろしくお願い致します。
今回の編集後記が初めて書かせて頂く機会になります。つたない部分も多々あるかとは思いますがお付き合いいただければと思います。編集後記を書かせて頂くにあたって何を書けば良いのか、目的をインターネットで検索したところ、ほとんどの記事には「編集後記は広報誌への興味を引き出す事」という意味のことが書かれていました。この興味を引き出すというのが難しいという事を最近、身を持って感じたことがあります。

私が昨年度から活動させて頂いている、近畿建築士会協議会青年部会の研修委員にて行う事業の広報を最初はSNSやチラシの配布などでしていたのですが、なかなか申し込みにまで結び付ける事が出来ずに焦っていました。そこで今度は直接、周りの方に協力を呼びかけたり、申し込みいただいた方には情報を拡散してもらえるよう依頼したりで、何とか現地で参加目標数を達成する事が出来ました。

こうした地道な活動を情報・広報委員会でも続ける事で少しずつでも皆様に興味も持って頂き、会報誌を楽しみにして読んで頂けるように、活動させて頂こうと思います。 【記: 永友 翔】

3月

15日 (水) 監理技術者講習
18日 (土) 山の辺の道等まち歩き

4月

12日 (水) 監理技術者講習

士 会 奈 良 通巻 648 号

令和5年3月1日 (発行隔月1回1日発行)

発行所 一般社団法人 奈良県建築士会
〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館
電話: 0742-30-3111 FAX: 0742-33-4333
<https://nara-kenchikushikai.or.jp/>
info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 米 村 博 昭
編集 集 (一社) 奈良県建築士会 情報・広報委員会



情報・広報委員会

委員長	福田 成生	小西 直樹
副委員長	伊藤 吉郎	平田 正裕
委員	紀 陽介	溜谷 剛
	門脇 直也	松尾 憲治
	永友 翔	山崎 修裕
	上柿 範兼	洞 尚樹
	小松原寛俊	
	押部 誠	



他の追随を許さない唯一無二の
「講習システム」と「合格実績」

1級建築士試験関西エリア合格実績 No.1

令和4年度 1級建築士 学科+設計製図試験

関西エリア
ストレート
合格者
占有率 **58.7%**

関西エリアストレート合格者 271名中 /
当学院当年度受講生 159名 (令和4年12月26日現在)

※関西エリア (2府4県: 大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県)

令和4年度 1級建築士 設計製図試験

関西エリア
合格者
占有率 **50.6%**

関西エリア合格者 625名中 /
当学院当年度受講生 316名 (令和4年12月26日現在)

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。
※都道府県合格者数・都道府県ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者とは、令和4年度建築士学科試験に合格し、令和4年度建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。

学生・元受講生・提携企業社員・他講習生対象
受験生応援キャンペーンがスタート



合格実績No.1の総合資格学院が
受講料を大幅に割引します

詳細は
コチラ
→



総合資格学院

開講講座

建築士/建築・土木・管工事施工管理/設備・構造設計1級建築士/建築
設備士/宅建/賃貸不動産経営管理士/インテリアコーディネーター

お問合せ先

奈良校 TEL: 0742-30-1511